

地域整備方針

(松山市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の 整備の推進に関し必要な事項
松山城 周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 ○松山ならではの歴史・文化等の地域資源を生かし、市民が住み続けたいと思う、歩いて暮らせる快適で豊かな都市空間を創出 ○商業業務機能や観光・国際交流機能の集積と脱炭素の取組を強化し、様々な人や企業が集い・交流できる空間を創出することで地域経済を活性化 ○災害に強い安全・安心なまちづくりを推進し、大規模災害等にも耐えられる都市環境を形成 ○バスや鉄道などの公共交通をはじめ、様々な交通手段がシームレスにつながり、年齢や身体機能等に関わらず誰もが安全で快適に移動できる環境を創出	○子供や若者等が楽しむことができる商業、交流、文化芸術機能の充実 ○スタートアップやベンチャーを支援することで新たなビジネスモデル創出を促進し、事業者間の交流を促進させるオフィス機能を強化 ○ワークライフバランスに貢献する職住近接や、ファミリー向け・ビジネス支援型マンションの提供など、ビジネスとプライベートの活動が調和できる機能を推進 ○誰もがゆったりと時間を過ごすことができる緑豊かな広場空間を創出し、ビル低層部には生活便利施設やカフェなどを設け、賑わい創出機能、交流機能を向上 ○集客交流の増加や地域経済の振興に貢献する MICE 機能の強化 ○大規模災害時の帰宅困難者が一時滞在可能な防災機能を確保	○交通結節点や観光施設の周辺等に地域素材（工芸技術・伝統文化・石材・木材など）を活用した旧城下町として風格のある空間を整備 ○誰もが利用しやすく来街者を呼び込む緑豊かな居心地の良い滞留空間を整備 ○市有施設の再編により行政機能の効率化や住民の利便性向上を図るとともに、災害時に対策活動を行う防災拠点の整備を促進 ○バスタプロジェクトや将来の新幹線建設などを見据えた JR 松山駅や市駅前広場の拠点整備により、広域交通と地域交通間の交通結節機能を強化 ○既存の電車・バス・タクシー等の交通手段間の接続を強化するとともに、新たな交通手段の導入により、地域内外の回遊性を向上	○交通結節点や観光施設などへの情報発信機能導入を促進し、市内外の人に対する文化芸術、観光、スポーツ、交通等の情報発信を強化 ○小説『坂の上の雲』や「ことば」文化、地理的・歴史的条件など、魅力や個性あふれる資源、地域特性を活用したまちづくりを推進 ○エリアの価値・持続可能性を向上させるために官民が連携してエリアマネジメント活動を推進 ○多様な人材の集積・交流や居心地の良い空間を創出し、歩いて楽しい空間を創出するために商店街を含む道路空間の柔軟な利活用を官民連携で促進 ○建築物の壁面後退等による賑わいとゆとりある歩行者空間の整備、街路と沿道建築物が調和した魅力的な景観形成及びファサード整備を推進 ○オープンスペースの緑化や ZEH、ZEB の普及促進などを通じたカーボンニュートラルの推進 ○5G、AI、IoT、MaaS 等の先進技術やセンサー等の活用により、エネルギー効率の向上や交通のスムーズ化など、Society5.0 実現に向けてスマートシティ施策を推進 ○公共交通による安全かつ快適な移動ができるよう、施設整備にあたってはユニバーサルデザインに配慮